



結小だより

★自分で学ぶ子
★仲よく助け合う子
★自分でできたえる子



言葉は心のプレゼント

校長 中野 由美

11月28日（金）に「ひびきあい集会」を行いました。この集会は、互いを認め合い、思いやりの心を育てることを目的としています。

各学年で、

- ・誰にでも進んで「あいさつ」をする
- ・名前に「さん」をつけて呼ぶ
- ・思いやりの言葉をかけたり、ルールを守ったりして、安心して生活できるようにする

といった取組を進め、その成果や課題を発表しました。また、SNS いじめをテーマとしたビデオを見て考えました。

（6年生の発表より）

・・・名前に「さん」を付けて呼ぶことは、相手を一人の人間として大切に、誰も嫌な気持ちにならないようにするために・・・分け隔てなく平等に接することで、仲間として気持ちよく過ごすことができます。・・・意識は高まってきましたができないことがあります・・・これまでに身についた習慣はすぐには変わりません。・・・みんなが安心して仲よく生活できるように・・・卒業までの4か月、相手を大切にしている気持ちが伝わる姿をめざして、下級生の手本となって頑張りたいです。



発表する1年生



1年生 ふわふわ行動の花



子どもたちの発表からは、「おはよう」「ありがとう」「〇〇さん」と声をかけることで友達との関係が深まったことや、分かっているけどできない場面があることなど、成長と課題の両方が見えてきました。

集会後、私は「言葉は心のプレゼント」という言葉を子どもたちに贈りました。あいさつや思いやりの言葉は、形のない贈り物ですが、受け取った人の心を温かくし、安心や信頼を生みます。反対に、言葉が足りないと、誤解や不安が生まれることもあります。だからこそ、言葉を大切にすることは、人と人をつなぐ大切な力なのです。

この活動は、学校だけでなく家庭や地域でも続けることで、より豊かな人間関係が育まれます。ぜひご家庭でも、「おはよう」「ありがとう」などの言葉を交わす時間を大切にしていただければと思います。言葉という心のプレゼントを、毎日の生活の中でたくさん贈り合えるよう、学校と家庭で一緒に取り組んでいきたいと思っています。

結ぶ手と手が輪になって ～結小学校の輝き～

表彰



■税に関する習字コンクール
(東海納税貯蓄組合連合会主催)

【大垣税務連絡協議会長賞】

5年 さん

【岐阜商工信用組合賞】

6年 さん

■令和7年度小学生人権書道コンテスト
(岐阜地方法務局大垣支局・大垣人権擁護
委員協議会主催)

【佳作】 3年 さん

4年 さん

4年 さん

5年 さん

5年 さん

5年 さん

5年 さん

6年 さん

6年 さん

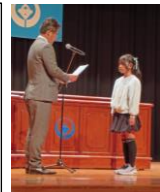
「家族の一行詩」

(安八町青少年育成町民会議主催)

【町民会議会長賞】

4年 さん

ふ安な顔をしていると、
必ずだれかが気付き、
声をかけてくれる。
私は、一人じゃない。



表彰式

【入選】

6年 さん

いつもケンカばかりで
はんこうばかり。
でも心の中は
「だいすき・ありがとう」
ばかりであふれてる。

1年 さん

ママとパパの
だいすきぎゅうが
ぼくのいちばんのたからもの。

結小学校ブラスバンド発表 (安八ふれあい祭り)

11月8日(土)の安八ふれあい祭りで、5・6年生児童がブラスバンド演奏を発表しました。発表後、あるお客様から、どうやって練習をしているのかと尋ねられました。授業のほか、昼休みに自主的に練習している子もいることを伝えると、「一人一人が自分の学校を誇らしく思っているから、そのような取組ができるのですね。みんなの心がひとつになった素敵な発表でした。」とおっしゃいました。この日の発表が、6年生にとっては最後のステージとなりました。12月からは、4年生が引き継ぎ、楽器オーディションが行われます。心をつなぐブラスバンドです。

